

対面での認知症サポーター養成講座開催にあたっての感染対策について

対面での認知症サポーター養成講座を開催する際にご留意いただきたいことを以下に記載します。
主催者（依頼者）および担当の認知症キャラバン・メイトともに参考にしてください。

【開催方法・運営について】

- ・3密を避けることを考慮したうえで、会場の選定および受講者数の決定をしてください。
- ・講座開催時には、大人が両手を広げて互いに手が触れない距離を確保してください。
- ・複数の講師が登壇する場合には、マイクを複数本用意してください。もし難しい場合には、講師が変わる度にマイクの消毒を徹底してください。
- ・複数の受講者で1つの資料や道具を共有しないようにしてください。
- ・受講者の座席は記録してください。
- ・受講者に対し、受付および講座開始前に注意喚起を実施してください。
- ・グループワーク等を行う場合にも、フィジカルディスタンスに留意してください。

【依頼者（団体）へのお願い】

- ・①発熱（37度以上、もしくは平熱より1度以上高い）、風邪症状がある場合、②家族に体調不良者がいる場合、③過去2週間以内に体調に異状があった場合には出席されないように周知をお願いします。（受付時に体調を確認するとともに、非接触型体温計を用いて体温を測定するとよい）
- ・マスク着用での出席をお願いします。
- ・受付時に行列を作らないよう、受付時間に幅を持たせるなどの工夫をお願いします。
- ・入室時・退室時に手指消毒の徹底をお願いします。

【会場の換気と消毒について】

- ・会場の選定にあたり、できるだけ換気の良い場所を選ぶ。
- ・常時の喚起を原則とするが、会場の関係で難しい場合には講座開始前、および单元と单元の間に必ず換気を行う。
- ・開始時・休憩時・終了時にドアノブ、テーブル、椅子など複数人が触れる場所を消毒する。

以上